

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical nephrology	An investigation of 2093 renal biopsies performed at Tokai University Hospital between 1976 and 2000	本間 正史	内科学系
臨床消化器内科	PHG (portal hypertensive gastropathy) の診断と治療	茂出木 成幸	内科学系
心電図	難治性心室性不整脈に対する新たな治療法の開発—重粒子線照射がウサギ梗塞心のコネキシン発現と不整脈耐性に及ぼす影響	網野 真理	内科学系
Cardiology Journal	Is the combination therapy of IKr-channel blocker and left stellate ganglion block effective for intractable ventricular arrhythmia in a cardiopulmonary arrest patient?	網野 真理	内科学系
腎と透析	ANCA関連血管炎の治療経過中に冠動脈の血管炎を合併したと思われる1例	木村 守次	内科学系
Intern Med	A retrospective study on the efficacy of corticosteroid-alone therapy in membranous nephropathy patients.	木村 守次	内科学系
Clinical nephrology	An investigation of 2093 renal biopsies performed at Tokai University Hospital between 1976 and 2000	木村 守次	内科学系
糖尿病	Diabetic lipemiaを呈した2型糖尿病の1例	木村 守次	内科学系
Dig Dis Sci	clinical utility of double-balloon enteroscopy for small intestinal bleeding	鈴木 孝良	内科学系
Digestion	Association of inflammatory cytokine gene polymorphisms with platelet recovery in idiopathic thrombocytopenic purpura patients after the eradication of Helicobacter pylori	鈴木 孝良	内科学系
J Ultrasound Med	Gastroduodenal Intussusception secondary to pedunculated gastric carcinoma.	鈴木 孝良	内科学系
Dig Dis Sci	Clinical utility of double-balloon enteroscopy for small intestinal bleeding	鈴木 孝良	内科学系
内科	抗リウマチ薬(DMARDs)はいつ、どのように使用するべきか？	鈴木 康夫	内科学系
CLINICAL CALCIUM	抗リウマチ薬の関節破壊抑制効果……	鈴木 康夫	内科学系
医学のあゆみ	メトトレキサートの適応と適正使用	鈴木 康夫	内科学系
リウマチ科	抗リウマチ薬による薬物性肺障害……	鈴木 康夫	内科学系
呼吸器科	生物学的製剤とその注意点	鈴木 康夫	内科学系
Arthritis	MTXをどのように使っていますか？……	鈴木 康夫	内科学系
日本臨牀増刊号 医薬品副作用学	抗リウマチ薬……	鈴木 康夫	内科学系
日本内科学会雑誌	新しい検査の意義と使い方 5. 骨代謝マーカー—鈴木康夫……	鈴木 康夫	内科学系
CLINICAL CALCIUM	関節リウマチの骨破壊に対するビスホスホネートの有効性……	鈴木 康夫	内科学系
Modern Rheumatology	Infectious mononucleosis-like syndrome induced by salazosulfapyridine in a patient with rheumatoid arthritis……	鈴木 康夫	内科学系
からだの科学	薬物療法③抗リウマチ薬……	鈴木 康夫	内科学系
骨・関節・靭帯	メトトレキサート(MTX)—適正用量とanchor drugとしての役割	鈴木 康夫	内科学系
The Bone	関節リウマチ	鈴木 康夫	内科学系
内科	CNSループスの診断に有用な検査は？SPECTの意義	鈴木 康夫	内科学系
CLINICAL CALCIUM	関節リウマチに伴う骨粗鬆症(1):病態	鈴木 康夫	内科学系
症候から迫る内科診療—典型例と非典型例によるアプローチ	乏尿	鈴木 大	内科学系
ハイパフォーマンスメンブレン07	透析膜によるカルボニルストレス軽減効果	鈴木 大	内科学系
総合健診	空腹時血糖異常に影響する因子に関するコホート研究	鈴木 大輔	内科学系
Journal of Biological Chemistry	A Novel Phosphoinositide 3-Kinase-dependent Pathway for Angiotensin II/AT-1 Receptor-mediated Induction of Collagen Synthesis in MES-13 Mesangial Cells.	鈴木 大輔	内科学系

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腎と透析	ANCA関連血管炎の治療経過中に冠動脈の血管炎を合併したと思われる1例	鈴木 大輔	内科学系
Nephron Exp Nephrol.	Interaction of alpha-actinin-4 with class I PxxP motif-containing OK/SW-CL16 protein.	鈴木 大輔	内科学系
Intern Med	A retrospective study on the efficacy of corticosteroid-alone therapy in membranous nephropathy patients.	鈴木 大輔	内科学系
総合健診	空腹時血糖異常に影響する因子に関するコホート研究	鈴木 大輔	内科学系
Clinical nephrology	An investigation of 2093 renal biopsies performed at Tokai University Hospital between 1976 and 2000	鈴木 大輔	内科学系
糖尿病	Diabetic lipemiaを呈した2型糖尿病の1例	鈴木 大輔	内科学系
内科	抗リウマチ薬(DMARDs)はいつ、どのように使用すべきか?..	齋藤 榮子	内科学系
CLINICAL CALCIUM	抗リウマチ薬の関節破壊抑制効果.....	齋藤 榮子	内科学系
医学のあゆみ	メトトレキサートの適応と適正使用.	齋藤 榮子	内科学系
リウマチ科	抗リウマチ薬による薬物性肺障害.....	齋藤 榮子	内科学系
呼吸器科	生物学的製剤とその注意点	齋藤 榮子	内科学系
日本臨牀増刊号 医薬品副作用学	抗リウマチ薬.....	齋藤 榮子	内科学系
骨・関節・靭帯	メトトレキサート(MTX)-適正用量とanchor drugとしての役割	齋藤 榮子	内科学系
内科	CNSループスの診断に有用な検査は? SPECTの意義	齋藤 榮子	内科学系
CLINICAL CALCIUM	関節リウマチに伴う骨粗鬆症(1):病態	齋藤 榮子	内科学系

計 1,037

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	猪口 貞樹
管理担当者氏名	廣瀬 利美雄

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 ①病院日誌②各科診療日誌③処方せん ④手術記録⑤看護記録⑥検査所見記録 ⑦エックス線写真⑧紹介状⑨退院した 患者に係る入院期間中の診療経過の要 約及び入院診療計画書		①、②伊勢原総務課 ③薬剤部 ④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨ 診療情報管理課	①、②・・・年度別 ③・・・年度別 ④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨...詳細は別紙
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	伊勢原人事課 伊勢原教育支援課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	伊勢原研究支援課	
	高度の医療の研修の実績	伊勢原教育支援課 (教育計画部)	
	閲覧実績	伊勢原総務課	
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	伊勢原総務課 薬剤部		
確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療安全対策課	
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療安全対策課	
	当該病院内に患者か らの安全管理に係る相 談に適切に応じる体制 の確保状況	医療安全調査課	
	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況	医療安全対策課	
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	医療安全対策課	
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	医療安全対策課	
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療安全対策課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器安全管理責任者（診療技術部長）
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理責任者及び当該部署
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理責任者及び当該部署
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理責任者及び当該部署		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	廣瀬 利美雄 (伊勢原事務部長)
閲覧担当者氏名	鈴木 賢 (伊勢原総務課長)
閲覧の求めに応じる場所	伊勢原総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.1 %	算定期間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	18,279人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,407人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	7,261人	
	D: 初診の患者の数	55,750人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専任（3名）非常勤1名：医療安全対策課 兼任（3名）：医療監査部長／医療安全管理委員長（1名）、医療監査部次長（2名）</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療監査部の事務に関すること。</li> <li>2. 医療安全教育の事務に関すること。</li> <li>3. 医療安全セミナーの実施運営に関すること。</li> <li>4. 医療安全の各種委員会の事務に関すること。</li> <li>5. 医療の安全と質の確保に関すること。</li> <li>6. 医療安全レポートに関すること。</li> <li>7. 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関すること。</li> <li>8. カルテ監査の事務に関すること。</li> <li>9. その他医療安全の事務に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。</li> <li>2. 医療に係る安全管理のための委員会およびその他医療機関内の組織に関する基本的事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定な事項を検討するため、各種の委員会並びに分科会を置く。</li> <li>(2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室）を置き、医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等職種横断的に指導するため専任医療安全管理者を医療安全対策課に配置する。</li> </ol> </li> <li>3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療安全に係る研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施する。 なお、新規採用、異動、出向終了者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全に関する事項</li> <li>(2) 感染防止対策に関する事項</li> <li>(3) 医薬品関連に関する事項</li> <li>(4) 医療機器関連に関する事項</li> <li>(5) その他重大な事象が発生した事項</li> </ol> </li> <li>4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 インシデントやアクシデントが発生した場合は、速やかに規定の様式により、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専任医療安全管理者が検証する。 なお、重要と思われるレポートについては、レポート検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは調査委員会で検証する。</li> <li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し指導を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。</li> <li>6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 (患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む) 医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境</li> </ol> </li> </ul>	